

営農ウィークリーNEWS

春先はこまめに換気を！！

湿度が高いと病原菌が増殖します。特に、湿度90%以上では灰色かび病、べと病などの病気が発生しやすくなります。



トマト灰色かび病



ホウレンソウべと病

病気発生 の 3つの要因

①「病原（主因；病原菌そのもの）」、②「植物（素因；罹病性品種、窒素過多・日照不足などで軟弱生育）」、③「環境（誘因；温度、湿度、風通し）」の3つの要因が重なり作用し合って、はじめて発病します。

窒素肥料のやり過ぎ、ハウスやトンネルの換気遅れは、作物が軟弱な生育になり、病気の発生を助長します。

春先は、日差しも強くなり、過保護にしない早めの管理が大事な時期です。畑の観察をしっかり行いましょう。

病気の発生を見たら初期防除が肝心です。素早く殺菌剤の散布を行いましょう。



サイド換気は早めにして、乾いた状態を作りましょう

—TAC information—



—竹炭資材の可能性!!!—

竹炭「鮮度名人」鮮度保持試験〜!!!



TAC

(営農販売課内で独自に簡易試験を実施)

竹炭商品「鮮度名人」の鮮度保持試験を、管内特産物の「花菜」で、実施中。

「鮮度名人」の小規格化等を検討しています。結果が、楽しみです〜